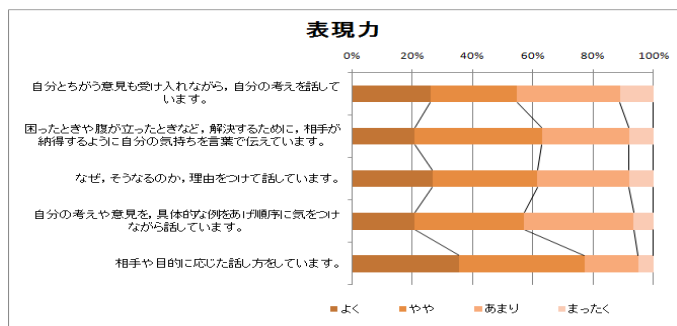


授業改善シート〔質問紙調査〕

校番(30)番 福山市立新市中央中学校

1 生活・学習

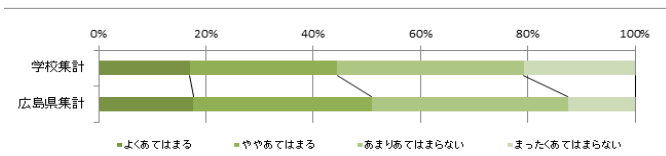


改善したい点(◎「基礎・基本」、◇「全国」)	今後の具体的な取組みの内容
◎表現力に関わる質問において、あてはまると答えた生徒の割合が低い。 (62.7% 県との差-6.0%) ◇「普段の授業では、生徒間で話し合う活動をしています」であてはまると答えた生徒の割合が低い。 (52.0% 県との差-16.6%)	・道徳の授業では発問を2問程度とし、必ず意見を書かせ、発表させる。その他の授業でも意思表示(賛成・反対)をさせ、発表に対して必ず理由を問う。 ・生活班とは別に学習班(原則4人)を編成し、話し合い活動を活発に行う。

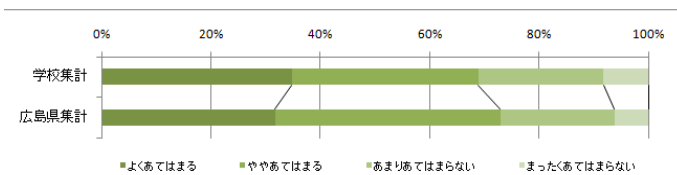
来年度の目標値	目標値
	・表現力に関わる質問において県との差を-3%以内とする。 ・「普段の授業では、生徒間で話し合う活動をしています」で60%以上にする。

2 教科学習への意識

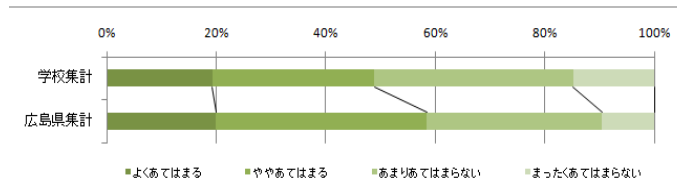
国語の授業では、中心となる言葉や文に線を引きながら、文章を読んでいます。



数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えます。



英語の授業では、相手が話している質問や依頼などを聞いてそれに答えています。



	生徒の回答と学校の指導についての課題(◎「基礎・基本」、◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	◎国語の授業では、中心となる言葉や文に線を引きながら、文章を読んでいる生徒が少ない。 (44.4% 県差-6.5%) ◇国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする生徒が少ない。 (49.1% 県差-14.7%)	・文章を読む際には、キーワードに着目して、文章の展開や登場人物の心情を読み取っていく授業を仕組む。 ・教科書の教材だけでなく、必要に応じて様々な資料を用いて、比較して読んだり、少人数グループ内で討議したり、それをもとに自分の考えを書いたりする場面を増やす。
数学	◎数学の授業では、自分の考え方や解き方と比べながら友だちや先生の説明を聞いている生徒が少ない。 (68.9% 県差-4.0%) ◇数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える生徒が少ない。 (34.0% 県差-8.9%)	・教師と生徒、少人数グループを活用した生徒同士の意見交流を行い、自分の考えと比べながら説明しあう機会を積極的に取り入れる。 ・数学の学習が普段の生活や他の授業に役立つという実感がもてるように、日常と関連付けた教材を準備する。
英語	◎英語の授業では、相手が英語で話している質問や依頼などを聞いて、それに答えることができる生徒が少ない。(48.9% 県差-9.6%)	・普段の授業の中に、Q&A活動やALTとの会話場面などを仕組み、英語を話す場面を増やす。 ・音読練習を繰り返すことで表現の定着を図り、生徒の発信力を高める。

来年度の目標値	目標値
	・教科が生活に役立つと答える生徒を県平均にする。 ・自分の考えを表現する生徒を県平均にする。

授業改善シート〔実施スケジュール〕

校番(30)番 福山市立新市中央中学校

	～ 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	・ Plan		・ Do				・ Check		・ Action			
	結果の分析・H23の改善計画の見直し H24の改善計画の実施					検証		次年度の計画				
全校・全教科	取り組み内容の確認	取り組み開始 道徳授業研	← 意思表示, 思考する発問, 学習班の活用				意識調査 (2学期分析)		意識調査 (1年間のまとめ)	目標の決定	取り組み開始	
国語		①漢字テスト	②文法テスト	③聞き取りテスト	④ペア学習 グループ学習	⑤意見文 ①②④	CRT調査 福山調査問題	②の定着度確認				
	← ③		← ⑤		← ③		← ⑤					
数学	①計算ドリル	②ミニテスト	③フラッシュカード	④ペア学習・ グループ学習	⑤1次方程式 ①②③④	⑥空間図形	⑦資料の活用	⑧文字式				
	← ⑤		← ⑥		← ⑦		← ⑧					
英語		Q&A	音読練習	ALTとの会話								
		リスニングテスト	曜日・日付のテスト	リスニングテスト スピーチ	ALTとの面接	リスニングテスト		曜日・日付のテスト	リスニングテスト スピーチ			
理科		調査問題の検証	①実験器具の 扱い方(実技テスト)	②密度の計算 問題	③濃度の計算 問題	④浮力・圧力 の問題	CRT調査	①・②の定着 度確認	③・④の定着 度確認	CRTの分 析・改善		
生活・学習	取り組み内容の確認	取り組み開始	← ASKの取組み, 毎月クラスごとに集計, 公表				2学期の検証		1年間の検証	目標の決定	取り組み開始	